

院内ワックス掛けによる 新生児マスククリーニングへの影響について

日頃よりマスククリーニング事業へのご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。

新生児マスククリーニングでは精密機器を用いておりますため、わずかな汚れなどの付着により、測定が妨害されてしまうことがあります。

今般、新生児マスククリーニングろ紙血検体の一部において、アミノ酸の1種であるロイシン(メーブルシロップ尿症の指標物質)の測定値が非常に低くなってしまいう現象が認められました。

その原因を以下のように調査したところ、それらの検体には床用ワックスの成分と思われる物質が含まれており、その成分がロイシンの測定を妨害していると考えられました。

【調査方法】

①ワックス掛けの行われる部屋、②ワックス掛けをしない部屋(別室)で採血用ろ紙を2日間静置し、ろ紙からワックス成分が検出されるか調べました。

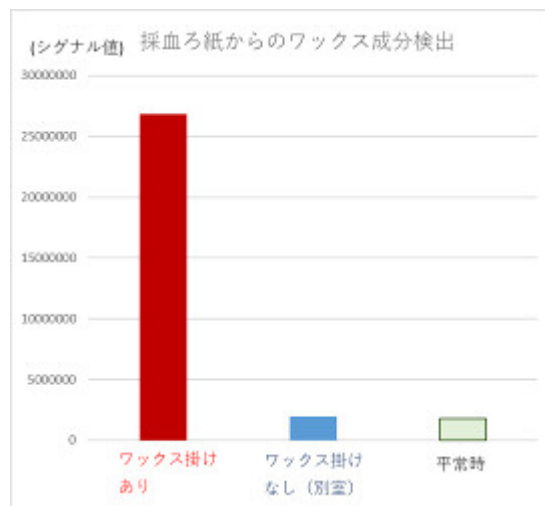
【調査結果】

右図のとおり、ワックス掛けを行った部屋では別室と比べ、ワックス成分と思われるシグナルを大きく検出しました。

このことからワックス掛けと同じ部屋に置かれた採血用ろ紙にはその成分が付着してしまうこと、そのシグナルが検査を妨害するため、ロイシンの濃度が低く算出されてしまうことが考えられました。

【医療機関への聞き取り】

これらの現象が認められた複数の医療機関へ問合せしましたところ、全ての医療機関で採血日近辺にワックス掛けが行われていたことを確認しました。ご協力いただいた医療機関の皆さま、ありがとうございました。



ワックス掛け時のお願い

院内でワックス掛けを行う際には、採血用ろ紙にワックス成分が付着しないよう、以下についてご配慮をお願い申し上げます。

- ①採血前の在庫など、採血用ろ紙を別室に移す。
- ②採血後、乾燥を別室で行う。(採血も別室が望ましい)
(成分の移行を防ぐために、ドアを閉めてください。)

なお、ワックス掛け直後は、ワックスの成分が空気中に残っている可能性があるため、翌日程度までご注意ください。



ワックス掛けの際には在庫や乾燥するろ紙を別室へ！